

25

東北帝國大學工業報告 第13卷 第3號
 Note on "Wave Propagation in a Semi-infinite Beam from its End" Seiichi Higuchi 373
 On the Stress Distributions in the Rim of a Spoked Wheel Seiichi Higuchi and Takeo Ootuka 380

名古屋帝國大學工學部研究報告 第1卷 第1號
 On the Current of the Fluid Caused by Heat Convection Z. Sakadi 13
 Heat Conduction in Fluid Accompanied by Thermal Expansion Z. Sakadi 29

北海道帝國大學工學部紀要 第7冊 第1號 昭和17年12月
 Some Experimental Studies on "Hydroexpansion" of Clay T. Fukutomi 388

Bulletin of the Chemical Society of Japan VI 18, No 1, January, 1943
 Über die Staubexplosion von Aluminium-Pulver. I. (I. Mitteilung des kolloidwissenschaftlichen Untersuchungen disperser Systeme, die die Gas-Phase als ein Komponent enthalten) Naoyasu Sata und Yukio Harisaki 21
 Untersuchungen über Mischkatalysatoren. I. Über Mischkatalysatoren. I. Über die Promotorwirkung des Molybdäns und Wolframs auf den Nickelkatalysator für die Hydrierung Shigeo Tanida 30
 Untersuchungen über Mischkatalysatoren. II. Röntgenographische Strukturanalyse von Nickel-Molybdän und Nickel-Wolframkatalysatoren Shigeo Tanida 3

Scientific Papers of the Institute of Physical and Chemical Research Nos. 1115~1118, Dec., 1942
 A Light Collector for Concentrating Rays through the Spectroscope Slit K. Toishi 151

Proceedings of the Imperial Academy Vol. XIY, No. 1 January, 1943

Scientific Papers of the Institute of Physical and Chemical Research Nos. 1113~1114, Nov. 1942

業 界 雜 報

○鐵鑛恒久策は共榮圈全體を通じて對策を樹てると岸商相が言明した。東中 0221

○鐵鋼業は鑛石法により採算を無視しても生産擴充をすることになり、統制も強化し、現地も6割増産の豫定 東京 0310

○現地の鐵工業増産の爲上海鐵工業組合は中國側と協議した上大 0104

○關係産業の協力を要する 仙河 0207

○砂鐵鍊には價額問題以外に勞力、資材、輸送、動力の研究の必要がある 東中 0226

○特殊鋼の壓延、鍛造製品向上のため下請は特殊鋼協議會の承認を要することになった 東中 0303

○鐵鋼増産議員聯盟が結成された 讀報 0305

○鐵鋼業關係産業の協力を圖る鐵鋼協力會が出来ると 東中 0225

○鐵鋼増産の爲統制會の主腦が交替した 大毎 0112

○行政官廳職權委讓令施行規則が公布された 東中 0121

○日本の原料による砂鐵製鋼法を實施すると東條首相、鈴木企畫院總裁は議會で答辯した 東中 0206, 0220 大毎 0220

○兵器用純鐵生産の爲低温還元法を強權を以て施行せよ 上島慶徳 大毎 0209~0210

○急速に貧鐵、粗炭を利用するため東邊道等に小型熔鑛爐を設けよ 滿日 0131

○特殊鋼管株の値上りは某社の合併策のための買入れによる 大阪 0110

○特殊鋼管大湊工場を石原産業に譲渡する 東都 0113

○同上賣却價額未定 東都 0226

○砂鐵が投機的になつてゐる 大毎 0226

○原價計算基礎として業者は新公價を要求してゐるが商工省は低物價政策上現行價格を維持しやうとしてゐる 東中 0210

○北安省徳都縣北郷の五大連池は硫化鐵鑛が豊富である 哈爾 0217

○八戸市郊外北沼で砂鐵を採取してゐる 大阪 0312

○烏根縣内久村鑛山を試掘する 東中 0302

○物動は製品にも及ぼし厚飯、鋼管から始めると相原企畫院第2部長は24日衆議院で言明した 大朝 0222

○建設部門を經營部門から分離するため鐵鋼工業會社を滿洲に作る 滿日 0203

○運管法協議會を樺太鋼材配給統制會社で開いた 樺日 0124

○鑛石増産のため鐵鋼資源會社を作る筈 東中 0211

○配給圓滑化を圖るため超重點産業に鐵鋼版を縮小しやうとしてゐるが、滿洲の經驗により強化する方針となつた 東中 0211, 0216

○製鐵能力の効率運管のため富鐵石の確保をする方針となつた 滿日 0121

○特殊鋼配給店を全國110店に整理の準備を金屬局長の通牒で行つてゐる。3月末迄に實施する 東中 0109, 關日 0118, 名古屋 0115

○原價計算を適用する會社としない所を理事會で定めた。統制會員30社 47工場には適用され、小規模の9社 12工場には適用されない 關日 0110

○適正價決定のため原價計算の準則が法制化した 蒙疆 0107

○鐵鋼生産設備建設事務は滿洲鐵鋼工務會社に一元的に委託された 大朝 0222

○生産第一主義により統制會は8部中、企畫、配給、考査、原料の4部を廢し、勤勞、調査、整備の3部を設け人事異動をした 大毎 0202 大阪 0202 東都 0203

○重點的生擴の目的で配給仕切値は特約店一本建となる 東中 0130

○増産の爲日鐵社長が統制會長を兼任することとなつた 哈爾 0102

○生産第一主義により統制會の機構を改める 讀報 0204

○鑛物工業はどの統制會にも入つて居ないが、獨立にするか包括するか研究中と神田商工省總務局長は答辯した 東中 0221

○製鐵工場が國家管理となつた 新報 0129 秋魁 0129

○鉄鑛特物の種には公價がないが一應指示價格の申請をせよ 東中 0222

○特殊鋼協議會は鐵鋼統制會に吸収された 大阪 0317

○鐵鋼第2次製品も企業整備するやう當局は通牒を發した 讀報 0307, 大朝 0307

○生産増強の爲、釘、亜鉛引鐵線、普通鐵線工業整備のため優秀工場に集中する 東中 0303

- 鐵鋼生産各部門別に原價計算を基礎として補償を行ふ 東中 0304
- 鐵鋼需給改善のため需要を計畫と一般の二つに分ける 東中 0302
- 鐵鋼販は歴延委員會を設け現場の實狀を見て配給の割當を行ふ 東中 0302
- 鐵鋼販で買ひ上げた管圍一般供出鋼材を需注に應じて再配する 東中 0220
- 配給上重要なものは鋼材共同配給所で特別配給し受付順位にはよらぬ 東中 0227
- 計畫空壁のため乙號鐵鋼切符を整理する 名新 1226
- 増産の爲官民懇談會を開く(滿洲) 滿日 0202
- 鋼材増産のため東北特殊鋼社は東北興業會社の出資により 600 萬圓に倍額増資する 仙河 1226
- 砂鐵事業を起すための資材は 18, 19 年の物動に悪影響を與へぬやうにしたいと 2 月 19 日議會で岸商相は述べた 東中 0220
- 鐵鋼製商品の強制買上權を物資統制令第 6 條に依り重要物資管理管圍に附與する 大阪 0223 大朝 0214
- 鋼材共同配給所の方針は共同觀念を強化、配給を迅速適正にする方針である 東中 0130
- 鐵鋼品の副資材の量不適の爲調整する。決定：鹽酸、苛性ソーダ等、折衝中、石炭、コークス、石油、薬工品(東京)中合 0130
- 低磷銑も對日供給順調である 京日 0217
- 滿洲國の鐵供給は豫定通り完了した 西日 0216 北日 0216
- 滿洲には貧鐵が多いが採鐵は従業員に鐵の重要性を知らせることが肝要らしい。處理の技術も進歩して行く 滿日 0203
- 鐵鑛の分布は米英 32, 歐洲 18, ソ聯 37, 大東亞 13% であるが大東亞は調査不十分だから 30% 以上になる見込がある。鑛床は大體層狀である(鐵鑛 100 年の計座談會) 滿日 0202
- 滿洲の鐵増産は割當量を突破する 大阪 0203
- 日鐵清津製鐵所第 2 熔鑛爐火入式が 21 日行はれた 滿日 1227
- 銑鐵の對日供給は第 1 次 5 ヶ年計畫の完成で本年度は前年度の 6 割増となる總務長官が説明した 大毎 0226
- フェロアロイは 17 年度は 16 年度より 20% 増産した、18 年度は更に増産するため攻究中である 東中 0224
- 北支現地の増産のため北支製鐵が石景山、陽泉、太原の三つを經營するかも知れぬ 東中 0226
- 支那にも製鐵業を發達させると上海大使館事務所與田經濟部長は語つた(上海) 東中 0222
- 再編成のため上海鐵工業組合は協議會を開く 上大 0115
- 豊田製鋼は稼行状態に入った 大阪 0311
- 昭和製鋼所第 2 分塊工場竣工した 滿洲 0226
- 重石製造のため日本高周波工業は冀東地區に設備を買収建設中 大朝 0114
- 小型熔鑛爐を浚川製鋼所も滿洲に建設する 大阪 0112 大朝 0114, 0110
- 増産のため小型爐を建設する。適地條件で殆んど全部大陸にある 18 年度には製銑を開始すると商工省金屬局足立鐵鋼課長は語つた 東中 0203
- 銑鐵製造のため臺灣重工業株式會社が出来る。工場は 6 月に竣工の見込；事業名。南海興業 400 萬圓、臺灣電力松山電氣製鐵工場 100 萬圓。臺灣重工業；高尾製鐵所、大屯製鐵所 臺日 0121 東中 0120
- 低品位炭を工場用とする爲焚燒用強壓送風機を本年度は 1000 臺

- 造る 滿日 0122
- 貧マンガン鑛利用のため高爐直接投入法により楊家杖子等の 20~25% のものが昭和製鋼所で利用出来るやうになつた 哈爾 0113
- 燃料節約のため業者に日本、滿洲とも 1 割の節約を統制會で實施させる 東中 0210
- 超高温還元も研究中 東中 0226
- 滿鐵では陸上輸送を強化する 滿日 0207
- 長江輸送力強化の爲日鐵は中支總局を設け、解、ジャンクを利用し、荷役能率増進を計る 西日 0202, 東新 0207
- 輸送隘路打開の爲、戦時輸送委員會を企畫院、陸海軍、商工、鐵道の 5 省關係者が八幡で開いた 東中 0207
- 銅鐵供出に大阪の華僑も加はつた 讀報 0303
- 米國は屑鐵とマンガンの入手に困つて居る 哈爾 0126
- 金屬回收本部官原案は承認された 大朝 0311, 大阪 0311
- 特殊鋼の公價が定まる 益日 0209
- 愛知縣の鋼材特約店を内申した 名新 0206
- 鐵屑回収のため大阪金屬回收會社を作る 東中 0213
- 金屬回收強化のため金屬回收局を商工省に作らうと言ふ案がある 東中 0213
- 前回の大阪の回収は成績不良であつたが今回は 1 戸平均 50 貫で家寶の供出、すざらん燈の撤去など、良好であつた 大阪 0209 大朝 0203, 大毎 0217
- 銅鐵の回収は一般家庭の分は 3 月末で一應打ち切ると議會で商工次官が言明した 大阪 0209
- 二重増産のため鐵屑回収が滿洲でも大きく行はれてゐる 滿日 0105
- 金屬回収のため東京と横濱に 200 萬圓と 500 萬圓の會社が出来るそれ迄金屬回收團が存続する 東中 0130
- 回收金屬輸送のため鐵道は輸送完遂を期し、又トラック燃料を特配する。實施地域、東京、横濱、川崎、名古屋、大阪、神戸、尼崎、北九州 5 市 名新 0116, 西日 0117
- 金屬供出のため東京市は電柱、量水器等で 3 萬 t 出す 東都 0211
- 熱選鑛法がある。酸性操業の爲には酸素、曹達が不足である。築爐、製鐵機械の専門家が居ない。 滿日 0208
- 技術交流のため日本鋼管に日鐵がトーマス製鋼法見學に技術者を派遣する 東中 0120
- 電力、石炭等を用ひて成立たないので噴火灣の砂鐵を特殊熱源體により露天 2~3mm で 99% 抽出する方法を長谷川光造氏が發明した 北夕 0216
- 鐵鋼増産歌と標語が定つた 北海 0307
- 三菱重工業名古屋航空機製作所、神戸製鋼所長府工場は航空機の機種、材料に増産、改善の實績を擧げ陸相から表彰された 東京 0314
- 鐵鋼業従業員の志氣昂揚のため政府と統制會は全國に 6 班の督勵班を派遣する 讀報 0110 大阪 0110
- 銑鐵増産の研究委員會が出来た研究事項委員次の如し
 - △現在の熔鑛爐に依る銑鐵増産を企圖することの研究、現に操業中の最も作業困難なる爐、又は其他の爐につき衝風量及びその溫度、爐内ガス及び溫度の分布、裝入原料の下降状態並に製品及び鑛滓状態等の爐内部診斷に必要な事項の測定
 - △隨時吹上爐につき爐命長短の原因、操業の適否等を調査判斷し爐命延長の對策確立及び以上に關する文獻調査
 - △委員(定員 35 名中決定せるもの) 昭和製鋼理事淺輪三郎、商工省中央度量衡檢定所天野清、本溪湖煤鐵公司理事井門文三、九大教授井上克己、輪西製鐵川原有美、東大教授吉川晴十、日鐵葛誠四郎、鐵鋼統制會里村伸二、名古屋帝大教授佐野幸吉、京大教授澤村宏、同佐々木申二、北大教授柴田善一、早大教授鹽澤正一、東大教授宗宮尙行、東大名譽教授使國一、東大教授田中清治、日本鋼管取締役中田義算、阪大教授藤井寛、日鐵藤村哲之、電氣試驗所長堀岡正家、釜石製鐵松浦道徹、兼二浦製鐵松尾重和、日鐵囑託松本與三郎、北大教授の場幸雄、北辰電機森武保、八幡製鐵安田勇治、廣畑製鐵山岡武、東京文大名譽教授理研所員和田猪三郎、清津製鐵和田龜吉 東中 0228